

⑥ () を含む文
"It is A that ~" の () 構文や、
" ~ " などの () 構文は、筆者によって行われる「 」の
表現なので、しっかり読み取る。

⑦ 現在形と過去形がミックスされている論説文の () 形部分
論説文において、現在と過去の対比されて展開する場面が多々あるが、
() 形の部分を中心に論を展開し、() が行われること
が多い。
過去形で述べられている部分は、()
が述べられて、中心のテーマの流れからズレていることが多い。
↓
現在と過去を設問で数問混ぜてるときは過去のことは本文の ()
エリアから、現在のことは本文の () エリアから、設問解答に必要な
情報をサーチすることにより、最短で答えを仕上げるコツとなることが多い。

⑧ 疑問文に対する () 部分
「~だろうか?」と問題提起をして、それに対する答えが ()
になる。答えがないケースは () の場合のみなので、論説文・説明文中
で疑問文が出てきたら「答え」を意識する!

- 3 論旨・主張をサポートする働きのセンテンス
- ① () ・ () マーカーに導かれる部分
 - ② () を述べた部分
多くは例示マーカーによって導かれる。() の抽象的表現が重要!
 - ③ () などの発言・論文の引用部分
みんなが知っている有名人の発言等を引用することで () の
正当性を高める! () をつかむことが重要!
 - ④ () を述べた部分
②の⑦で述べた () の部分で、現在形だった文が過去形
の文にスイッチするきっかけになることが多い。

【ポイント】
①~④の部分は、あまり細部にこだわらず () !
メインの部分が難しいときはこの部分を読んで () にする!